

## 会 議 概 要

会 議 名	令和5年度 第1回豊橋市上下水道事業経営検討委員会
開 催 日 時	令和5年8月3日(木) 午後1時30分から午後3時00分
開 催 場 所	豊橋市上下水道局 5階 大会議室
出 席 委 員	伊藤友之委員、稲田充男委員、鈴木由紀子委員、高橋大輔委員、藤城ひろみ委員、諸石光代委員
欠 席 委 員	齊藤由里恵委員、瀧川雅弘委員
事 務 局	木和田上下水道局長、前田総務課長、田口営業課長、森下浄水課長、永野水道管路課長、石黒下水道施設課長、羽田野下水道整備課長、夏目総務課主幹、森田水道管路課補佐、白井総務課主査、石黒総務課主査、長久総務課主査
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 上下水道局長挨拶</li> <li>3 委嘱状交付</li> <li>4 委員紹介</li> <li>5 職員自己紹介</li> <li>6 経営検討委員会について</li> <li>7 会長及び副会長の選出について</li> <li>8 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水道事業及び下水道事業の概要</li> <li>(2) 基幹管路の複線化について</li> </ol> </li> <li>9 その他</li> <li>10 閉会</li> </ol>
配 布 資 料	次第 座席表 資料1 豊橋市上下水道事業経営検討委員会設置要綱及び委員名簿 資料2 豊橋市水道事業及び下水道事業の概要 資料3 基幹管路の複線化について 上下水道ビジョン2021-2030 経営比較分析表(水道、公下、特環、農集) 水道施設のあらまし、 中島処理場のパンフレット 豊橋市バイオマス利活用センターのパンフレット 上下水道局だよりNo.16、No.17 ピカピカの水
会議の公開 又は非公開	公開(傍聴者なし)

令和5年度 第1回豊橋市上下水道事業経営検討委員会 要録

発言者	会議の概要
	<p>1 開会 (略)</p> <p>2 上下水道局長挨拶 (略)</p> <p>3 委嘱状交付 (略)</p> <p>4 委員紹介 (略)</p> <p>5 職員自己紹介 (略)</p>
事務局	<p>6 経営検討委員会について 資料1「豊橋市上下水道事業経営検討委員会設置要綱及び委員名簿」について説明</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>7 会長及び副会長の選出について 委員の発議により、会長に稲田委員、副会長に齊藤委員を選任 (委員全員一致で承認)</p> <p>8 議題 (1) 水道事業及び下水道事業の概要について、事務局より説明願います。</p> <p>資料2「水道事業及び下水道事業の概要」について説明 事務局の説明に対し、質問・意見を伺いたい。</p> <p>資料1 7頁で、令和5年度水道事業会計予算では、資本的収入の補てん財源 29億7,800万円に対し、収益的支出の減価償却費 18億6,000万円となっており、これでは補てんしきれないと思うが。</p> <p>減価償却費などの非現金支出と純利益を含む繰越利益剰余金が補てん財源となるので、補てん財源が30億円程度でも剰余金が出る。</p> <p>建設改良費に、減価償却費と積立金を充ててしまうと、将来の設備更新のための積立ははどうするのか。</p> <p>基本的には、施設更新に対しては、減価償却費相当額と利益剰余金を充てることとなるが、物価上昇や機能向上分については、水道料金の中に資産維持費という項目を設け、料金改定時に施設更新も加味して算定する仕組みになっている。</p> <p>現時点でのシミュレーションでは、枯渇することはないのか。</p> <p>管の更新を増やしている状況なので、手持ちの資金は減る傾向にある。他に意見等はありませんか。</p>

発言者	会議の概要
	(意見等なし)
会長	次に議題(2)基幹管路の複線化について、事務局より説明願います。
事務局	資料3「基幹管路の複線化について」説明
会長	事務局の説明に対し、質問・意見を伺いたい。
委員	資料2頁の重要給水施設管路の対象施設の250箇所は、ここに記載の施設以外にもあるのか。
事務局	ここに記載の施設のみとなっている。
委員	小中学校はどうなっているか。
事務局	小中学校は、避難所・避難場所の中に入っている。
委員	資料14頁について、イメージみたいなものはあるか。
事務局	まだ、これから検討していくので、具体的なものはない。
委員	他の自治体で、こうした取り組みをしているところはあるか。
事務局	そのあたりもこれから勉強していく。
委員	資料13頁の事業費内訳に財源が載っていないが。
事務局	この資料には、ここに記載のすべてをやっていくこととした場合の概算費用を載せている。これから必要性や代替案などを検討していくので、実際に121億円かかるということではない。検討したうえで必要なものを次の上下水道ビジョンに反映させていく。
会長	資料6頁の更新基準耐用年数は、どのようにして出したものか。
事務局	資料5頁に記載してあるとおり、管の共用実績やサンプリング調査、材料メーカーへ聞き取りなどして、市独自に耐用年数を出した。
会長	他の自治体でも同じようなものをつくっていると思うが。
事務局	他の自治体にも聞き取りをしてつくっている。
会長	他に意見等はありませんか。
	(意見等なし)
	今回は現状や概要について教えてもらった。次回は、事業の進捗状況など出てくると思うので、その時にはまたいろいろと委員からの意見を伺いたい。
	本日の議題はこれで終了とする。
事務局	9 その他
	水道管路課より報告
事務局	令和4年度の工事発注における設計書の積算誤りについて、令和4年度の内部統制評価報告書により、9月議会で報告され、市のホームページにも公表されることになる。このような間違いはあってはいけないものなので、チェック体制を強化し、積算でミスが起こりそうところについて研修を行ったり、単価データを移し替える作業を委託化するなど再発防止に取り組んでいく。

発言者	会議の概要
事務局 委員	事務局の説明に対し、質問・意見を伺いたい。 積算や設計業務というのは専門的な知識が必要であり、金額規模が何億という事業があったり、項目も膨大でチェックをするにも労力がかかるし、経験がないとわからないと思う。専門的なところは業者と上手に情報交換しながらやっていくことが必要。今後は人材も不足し、経験年数の少ない職員が増えていくと思うので、民間と連携することも考えていく必要があると思う。
事務局	他に意見等はありませんか。 (意見等なし)
事務局	10.閉会 本日の会議はこれにて終了とする。